

津松阪堤防改良工事

発注者：四日市港湾事務所

受注者：五洋建設株式会社



2015年入社 秋田谷 公宏

名古屋支店に入社し、2年間三重県内の高速道路工事に携わってきました。2017年4月から津松阪港の海岸堤防工事に従事しています。

●建設業に入った動機

高校3年生の時に青森県で東日本大震災を経験し、実際に津波被害の状況を目の当たりにしました。そこで、東日本の復興や自然災害から人を守る仕事がしたいと思い、建設業に入ることを決意しました。

●建設業入職を希望する若者へのメッセージ

今年で入社3年目になりますが、生活の中で何気なく利用してきた道路や水道などが建設業という職に支えられ、人々の生活の役に立っているのだと実感しています。土木工学は経験工学だと言われています。自分自身まだまだ経験していないことがたくさんありますが、共に学び、一緒に日本のインフラを支えていきましょう。

●現場での私の顔

現場では、主に安全管理・品質管理・出来形管理・工程管理を担当しており、現場をスムーズに進め、より良いものをつくり、無事故・無災害で工事を終えることが私の役割です。その日の進捗に応じて作業内容が変化するため、作業員の方との連絡・調整を密に行い、今後どうしていくのかを話し合いながら、日々現場運営に励んでいます。

【工事概要】

本工事は、津松阪港津地区阿漕浦・御殿場において、堤防の構造物撤去工、仮設工、土工及び本体工を施工しています。

津松阪港海岸の海岸堤防は整備後50年以上が経過し老朽化が進んでいます。また、天端高さも不足しており、高潮による甚大な浸水被害が懸念されているほか、地震発生時には液状化による沈下の恐れもあるため、堤防の改良整備を進めています。

